

第 169 回 山行記 烏場山(266.6m)2022/12/19



2022 年最後の山行は温暖な気候で冬でも花が咲き誇る南房総和田浦町の烏場山を登りました。バスは 5:30 京成大久保駅から各乗車場所にて参加者 18 名を乗せまだ暗い 6 時前に幕張 IC に入りました。当日はサッカーワ



ールドカップ決勝があり試合終了まで見て寝不足の方がいましたがバス内で十分に仮眠する間もなく約 50 分後に君津 PA(無人)の休憩場所に到着。次に富浦 IC をおりの所のコンビニで食料を調達し 8:10 予定通り花夢花夢公園駐車場に到着しました。当日の天気は晴れ、最高気温 10 度以下、風速 6ms~9ms と冷たい風が心配されましたが準備運動で体を暖め準備完了。山行前に‘烏場山の標高は低いが歩行距離が長いので気を付けるように’と山行を心配された方からアドバイスがあり、もっと登山口近くまでバスで入れないか役所に問い合わせたら登山入口の駐車場までは林道なので軽自動車しか入れない、YAMAP の投稿にマイクロバスで来たグループが入口近くまでバスを進めたことあったが花夢花夢公園から数分の場所だったため、降車場所を変更せず皆さんの様子を見ながらゆっくり歩くことにして、3 班各自



の役割を決め 8:30 花夢花夢公園を出発し 9:00 花嫁街道入口から烏場山山頂を目指しました。この花嫁街道は山間集落と海辺の集落との交流道で塩汲み、生活物資の往来、かつては花嫁行列もここを歩いて嫁いで行ったという由来から命名されたようだが、上り始めから第 2 展望台までは日があまりあたらない林の中にやや急な山道



が続き、この道を華やかな花嫁達が歩いたのだろうか?と妙な思いが巡りました。その第2展望台からは景観が広がり千葉県最高峰の愛宕山、遠くにうっすら富士山、太陽にキラキラと輝く外房の海がみえました。第2展望台を過ぎた辺りから花嫁街道に相応しい緩やかで日の当たる箇所になり、経文石、自我井水、駒返しを通り 10:50 広々としたカヤ場(見晴台)に到着し昼食をとりました。11:30 カヤ場を出発し 10 分程歩いて烏場山山



頂に到着。記念写真の準備をしているところに 1 人の登山者がちょうど山頂に到着しその方に全員揃った記念写真をお願いし撮っていただきました。そこから時計回りに花嫁街道を下りましたが花嫁街道の由来はあるものの花嫁街道の由来がどこにも見当たらない。何故?とまた妙な思いを巡らしました。花嫁街道は下り傾斜がきつい箇所が

多くありましたが注意しながら下り 13:20 黒滝に到着。ここまで下山中に水が流れる音に気が付かないまま歩いてきたところに落差 15mはありそうな滝が突然現れごうごうと音をたてて一気に落ちていく光景に感動しました。そこからは平坦な道となり 14:30 花夢花夢公園駐車場に到着。心配された気温や強風は良い方にはずれ寒くなく強い風も吹かず天候に恵まれ良い登山になりました。残念ながら花が咲き誇る時期には少し早くなりましたが、登山道にあった草花や樹木、野鳥の名前等を教えていただきたくさん学ぶことができ、ただ登るだけだった登山がさらに楽しめる目的を見つけることができました。駐車場到着後は各自で整理体操を済ませ、復路は下山が予定より遅れたため駐車場近くの和田浦駅隣接の道の駅和田浦ワオに変更し買物、軽食、一杯、さらにもう一杯楽しんで 18:10 予定より 40 分遅れて幕張 IC に到着となりましたが無事に終えることができました。皆さんご協力ありがとうございました。



フユイチゴ



クサギ



フウトウカスラ